

凡例	内容	まちづくりの目標
ゾーン※	 市街地の良好な低層を主体とした住宅地の環境保全ゾーン	寺社等の歴史的遺産や自然と一体となった低層低密で緑豊かな落ち着いた雰囲気の中層住宅を主体とし、一部中層の共同住宅や、住環境と調和した店舗等のある魅力的な住宅地としての環境の保全を図る。
	 主要道路沿道の住宅地の環境形成ゾーン	住宅地としての環境の保全・育成を基本としつつ、低層から一部中層として、沿道の環境整備とあわせながら土地利用密度をやや高め、戸建住宅や集合住宅と生活関連店舗等の複合した環境の形成を図る。
	 海沿いの住宅地と観光施設の調和ゾーン	昔ながらの保養地として環境になじんだ住宅と駅前につながる商業地や海浜部の観光施設との連続性に配慮した特色のある店舗や公的施設等が調和する環境の形成を図る。
	 駅周辺商店街の個性を活かしたまち並み整備ゾーン	鎌倉地域の中心的商業地として、市民ニーズや観光ニーズに応える商業を配置し、より賑わいを高める工夫をしていくとともに、魅力的な憩いの空間（広場等）の形成を図る。
	 周辺の住環境と調和した商業地の形成ゾーン	歩行回遊型の低・中層の店舗と住宅が複合する生活型住商複合地としてのまち並みの形成を図る。
	 住宅地と調和した商業施設の環境形成ゾーン	住宅と観光商業施設の調和したまち並みを形成していく。主要な観光ルートにあることから、快適な歩く観光を推進するための歩道の充実と、適切な沿道の土地利用の形成を図る。
	 公共公益施設	敷地周辺の緑化を図り、市民への開放を推進するとともに、ミニ防災拠点としての機能等、周辺環境への貢献に配慮していく。
	 寺社・教会	施設及び環境を良好な状態に維持していくとともに、敷地周辺の緑化等、周辺環境への貢献に配慮していく。
道路・鉄道・河川	 主要道路	骨格となる道路として、十分な公共交通・円滑な自動車交通を支える環境づくりを進めるとともに、若宮大路や由比が浜商店街等人通りの多い道路においては、安全で快適な歩行者環境を整備していく。
	 地区道路	地区の活動を支える主要な道路として、安全な歩行環境と円滑な自動車交通が可能となるよう、きめの細かな道路環境を整備していく。
	 横丁	市民・来訪者に身近な道路として、歩行者優先を基本としつつ地区の特性に応じた歩車共存の道路環境を整備していく。
	 賑わい道路	買物とまちの賑わいを楽しむ道路として、活力ある商業地を形成していくとともに、歩行者優先で親しみの感じられる歩行者環境を整備していく。
	 鉄道	沿線部の緑化・修景を進めることにより、車窓からの眺めとともに、身近な緑を大切にしたいまちづくりを進めていく。
	 親水河川	市民及び来訪者にとって潤いの感じられる、沿岸部と一体となった親水性の高い河川環境を整備していく。
軸	 シンボル軸	若宮大路においては、それぞれのエリアの特性を活かしつつ、全体としては古都のシンボル軸として、中世以降の歴史的都市軸にふさわしい活力と風格を兼ね備えたまち並みを形成していく。
	 ふれあい軸	人々が出会いふれあう軸として、賑わいの演出とともに、ユニバーサルデザインの推進等、人をあたたかく迎える雰囲気づくりを進めていく。
	 あきない軸	歴史性を活かし、古都にふさわしい活気にあふれた商業軸を形成していく。

※ゾーンは、都市マスタープランをベースにしています。